

兔

新春ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

協会会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、世界的なパンデミックからのウイルスとの共存、ロシアによるウクライナ侵攻、安倍元首相銃撃事件と旧統一教会問題、急激な円安や物価高騰、日銀の大規模な金融緩和策修正による実質的な利上げ等、大きな変化の波に晒された年となりました。世界情勢、政治、経済どれも我々の生活と密接に関わり合いがあるものばかりで、今後の展開に対して懸念や不安を拭えませんが、少しでも状況が好転することを期待し、見守っていききたいものです。

昨年、当協会は設立30周年を迎えました。1992年に発足してからこの30年間、ダイヤモンド工具を使った切断穿孔業は目覚ましい進歩を遂げて社会に貢献して参りました。又、近年では協会のモットーである「共通の利害」のもと、会員同士が施工協力という形で人手不足を補い合い、老朽化が進むインフラの修繕に取り組んでいます。こうして今では当たり前のように行っている事は、ひとえに当協会の発展に尽力された歴代の会長・理事長をはじめ、これまでの諸先輩方のお陰です。感謝の心を忘れることなく、次世代へ当協会の歴史と存在意義を引き継ぐとともに、新しい技術開発や、より安全な施工方法を探求し確立することによって、我々は切断穿孔業を更に発展させるという使命を果たして参りたいと思います。

準備不足により昨年は設立30周年記念式典を行えませんでした。遅ればせながら、本年5月に開催する総会時に式典を催す予定でございますので是非、会員の皆様方には万障お繰り合わせの上、ご参加くださるようお願い申し上げますとともに、当協会の益々の発展と協会会員各位の今後のご健勝と商売繁盛を祈念致しまして 年頭のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
理事長 小澤 純

目次

新春ご挨拶 小澤理事長	1	特別座談会・福岡編	10～18
第69回横浜例会報告	2～6	施工計画の手引 掲載のお知らせ/事務局便り	19
懇親会報告	7	JCSDA会員名簿	20
例会プレゼンコーナー	8～9		

JCSDA 第69回横浜例会

日時：令和4年10月19日(水)
場所：横浜 ホテルメルパルク横浜

◆第69回例会 出席33社51名 司会進行 広報委員長 久保 達博氏 (株)シブヤ

1. 開催宣言

15時00分進行役久保氏による開催宣言が行われ、例会スタート。



司会進行役 久保氏

2. 理事長挨拶 小澤理事長 (コンクリートコーリング株) より開会挨拶

前回、5月の総会開催で3年振りに皆さんとお顔合わせが出来、コロナの具合が少々心配ではあったが、無事に今回も開催することが出来てほっとしている。この半年弱色々あった。政治では、安倍元総理が痛ましい事故で亡くなり、旧統一教会問題等毎日ニュースで耳にする。経済では前回の時はウクライナの問題で原材料の高騰等の話があったが、それに加え最近一番煽りを受けているのが円安で、生活に関わるどころでも日常的に値上げを耳にする。円安だけではなく、メーカーの方は深刻な問題である電気料金的大幅な値上がり。来年の春から更に値上げするとの話もあり、それにより製品の値上げに関して切実な状況に来ていると思う。一方、おかげさまで我々の業界は建設業の中でも今は比較的状况が良いかな、という業者さんが多いように感じる。メインとなるのが高速道路や電力関係の仕事で、繁忙期と閑散期の波が激しいという話の中比較的忙しいと耳にする。やはり我々は営利企業なので収益を上げていかなければならず、どうしてもそちらの方に目を向けがちだが、実際の現場では安全を再優先するという事で、特に今10月なので皆さん忙しい真っ只中、合間を縫って今日こうして大勢の方が参加して下さいなので、是非この場を有意義なものにして、今日この会で得たものを各会社に持ち帰って反映して頂けたらと思う。先日安全に関してとあるゼネコンの所長さんと話していて、[安全第一]という話はよく聞けけれど、現場で所長方針とか所長スローガンを掲げるが、その所長が掲げていた安全が[やはり安全]という言葉。なんという事のない単純な言葉だが、私は非常に感銘を受けた。皆さん会社の幹部なので、先程の収益の話とか工程の話に目を向けがちだが[やはり安全]非常にいい言葉だなと感じた。我々経営者そして幹部がそこまで考えを巡らせていかないといけないと強く思った。このJCSDAという会は日本でも切断穿孔の業界で率先垂範していかなければならない組織団体だと思うので、安全を疎かにしないように、皆さんとやっていきたい。それをお願いし、私の挨拶とさせていただきます。



小澤理事長 挨拶



例会風景

3. 新規会員紹介

本年9月に「株式会社D-1」が新規入会された。代表取締役淡路忠利氏より自己紹介を兼ねた挨拶をいただいた

4. 地区代表報告

① 北海道地区代表 第一建興江島株式会社 相羽浩貴氏

令和4年度、北海道では工事発注が遅く、下期ようやく工事発注がされたが、今は現場が集中して、人のやりくりが非常に大変な状態。バランスよく工事が発注されないものかと強く感じる。北海道は今一番ピークで、これといった高額物件はないが件数は多い。当社では4tユニックが足りずレンタル業者にもないという状況から、不使用期間も含め月極契約で確保している。ここ数年、NEXCOリニューアル工事に伴うワイヤーソー工事やカッター工事が毎年出てきて、当社も現場に入っているが北海道は冬季施工が難しい分、工期短縮化を余儀なくされる。5月・6月の春施工と8月から11月の秋施工の2回に分けての工事が多い。その8月から11月がとても忙しく工事も重なり、そのやり繰りに今非常に苦労している。



北海道 相羽理事

様々な業者さんに声をかけ何とか施工をしている状況。これからの冬季間は、樋門の補修工事や橋梁補修、橋梁撤去工事があり、多少冬の工事として埋められている。その他、砂防スリット工事等も札幌を中心と道東・道北の方でも数件出ているが、それに関しては乏しい件数。来年以降は、発電所関連や耐震補強工事等の更新や、撤去工事に期待したい。また、2030年を目指す北海道新幹線開業に伴い、ホテル建設や商業施設のリニューアル等の工事が加速していきそう。このチャンスを大いに生かし、業界を盛り上げていきたいと思う。一方で、札幌市が誘致活動中のオリパラに関しては東京オリパラでの不祥事等で、誘致がままならない雰囲気があり、施設リニューアル等の分野でも期待したいところだがどうなるのか不明。今後も、協会を通じ情報共有させていただき、より視野を広げていきたいと思っている。また、当社の事情だが、切断工事や解体工事等部署が分かれているのはあるが、カッター工事は去年と比べ若干減っており、景気の落ち込みを機に単価変更を、特に交通費の値上げを誘導している。あくまでも当社流だがキロ200円という設定にして取引先に提示している。当然、切断単価の値上げも必須だが、仕事量減少の補填がやや出来ている。これからも全国各地から皆さんいらしているので、色々な事例を参考にさせていただけたらと思っている。

② 東北地区代表 東北カッター株式会社 高橋辰佳氏

夏場にかけてコロナの感染者数がやや減少したが、自分はお盆直前に子供からもらい、家族全員順番に感染した。長いお盆休みが明けてからは現場の方に出ている状況が続いている。東北は既に気温に関しては最低気温が1桁になっており、皆体調管理が難しくなっている。日中日が出れば、作業者は汗をかき夕方になれば冷え込む状況なので体調管理が重要な時期だと考えている。今年は3年振りに東北各県の主要祭りが開催され、青森地元のねぶた祭りも開催された。人出は制限されたが、やはりある夏とない夏では全然違うなと改めて感じた。スポーツでは楽天が貯金18あったのが、結果的にはBクラスになったり、サッカーも元気がないかなというように思う。仕事では、今年大雨災害が北東北の方にもあり青森県も川が氾濫し地元の方は被災されたということが、全国的にもニュースになった。去年までその辺も対策工事を行っていたが、結果的には川が氾濫して住民や農家がだいぶ被害を受けた。その復旧工事でお盆休みに急遽呼ばれたり等あった。NEXCO関連では、東北道は規制ばかりかかっている。修繕や床版取り換え等、岩手県だけでも2ヶ所、宮城県もやっており、盛んに規制が張られていてガードマンの取り合いになっているというのも聞いており、人手が厳しい状況を痛感する。盆明け、初めて高速道路上でPC桁の床版取り換えを行った。今までは鋼桁が主流の中で、これからはウォータージェットを併用してやっていくという発注が今現在もこれからも実感として多くなってきている。新幹線関連工事でもだいぶ今補修・補強が各所で行なわれている。また、発電所や原子力施設の改修工事も今現在入っている。毎年同程度の工事量がある。風力発電の工事でカッターが何キロ・十何キロあったりする。県、市町村発注仕事で上下水の細かい仕事もあるが、やはり橋の補修が多いのかなと思う。件数が重なり人手が不足しているのが課題。今年目立つのは砂防堰堤が何件か重なってワイヤーソーの工事の物件が重なっている。前回と同内容程度だが、現在が繁忙期で雪が降る前というのもあり、特に積雪が多い地域は繁忙期を迎えている。先程理事長からの話の「やはり安全」は本当に重要なところだなと強く共鳴している。この業界の信頼と地位を上げていく為に、安全に作業を行っていききたいと思う。



東北 高橋理事

③ 関東地区代表 第一ダイヤモンド工事株式会社 阿部広氏

高速道路関係ではNEXCO東日本・西日本各県各所においての床版の取り換えと耐震補強とか、TVでもPRが盛んに行われている。当社も補強工事と呼んでいただいておりますワイヤーソーとコアをやらしていただいている。高橋社長さん（第一カッター興業）のところはウォータージェットをされている。今、NEXCOの話をしたが、今後首都高でも始まる。継続しているのが大師橋の架け替えと3号線の池尻周辺の改良工事、品川、鮫洲辺りもやっている。今年から新しく始まるのが、日本橋の地下化で、日本橋の上の道路をトンネルにしようという工事であるが、かなりの大工事になると思う。今、出入り口の橋の撤去など少しずつ始まっているが、国交省の講演を聞き、かなり難しい工事らしく、地下鉄等のライフラインともかなり接近しており、ほんの何メートルをぬった工事になるとの事で、2040年の完成予定との事。このような事を含め国土強靱化で一般道、地方道も含めて進められている。最近国土交通省土木研究所の講演会に行き、この中で聞いたのが、今後年間5000橋の補修が必要らしい。危険度はレベル1～4とあり、4が一番緊急性が高く、今行なっているのは殆どレベル3らしいが、今の修理状況だと今後20年かかるとの事。橋を直していても傷んでいく橋の方が多く間に合わないらしく、今後、予算を設けて対策していかなければ、通れない橋が出てくるとの事。また、都内の建築工事大型再開発工事が無数にあるそう。23区内、オリンピック前からかなり進められていたが、かなり数も多い様子。代表的なところでは、大手町に建設中の日本一高いビルTorch Towerで、390メートルになるそう。また、八重洲・虎ノ門・品川・銀座・渋谷等どんどん開発が進んでいく様子。今度、新しく始まったのが新宿西口周辺。この辺がデパートを含めかつての渋谷駅再開発のように工事が始まるとの事。だが、いずれの工事でも建設資材の高騰でかなりの赤字が既に発生しているようで、こちら辺りが今後我々に影響が出ないか心配している。羽田空港ではアクセス線がこれから始まり、京急も引き込み線等で来年か再来年あたりは通路歩いているとワイヤーソーやコアの音がするんじゃないか、という大工事らしい。成田空港B滑走路が延伸で2500mから3000mになるそうで、羽田ほどではないが、成田も工事は進めていくようである。次に電力関係、いま世界中で問題になっているが、日本も夏を乗り切れるか寒い冬を越せるかと、曾ての日本ではありえない事が心配されているが、燃料の高騰、ウクライナ侵攻と円安と影響が出ている。火力発電は発電すればする程赤字らしく、何とかしなければいけないということで原子力発電所を岸田総理も「動かす」と頑張っているが、関東には東海第二原発しかなく、こちらの再稼働に取り組んでいる。また、東電の柏崎刈羽原子力発電所は世界1の発電能力の原発なので、総対策費1兆2千億円をかけ、こちらも急いでやるのではないかなと思う。水力発電は再生可能エネルギーという事で、水車の取り換え工事が関東甲信では埼玉・群馬・栃木・山梨・長野県で、東電と民間、それと県の企業局の発電所年間大小10か所くらいある。比較的、短期間で効率よくできる工事なので我々にとってはありがたいと思う。最後に鉄道関係、京急の泉岳寺の改修開業とか品川駅連続立体交差、この辺がこれから始まっていく。私は東京に出てきて7年だが、東北と市場が違うなと実感している。これからかなり工事の発注が期待できると考える。実際、第3/4半期が一番かき入れ時で、どこの業者も人手不足協力会社の取り合いになっていくような状況である。



関東 阿部理事

④ 東海地区代表 東海カッター興業株式会社 後藤諭氏

皆さんがお話しされたように各高速道路、東名・名神・新名神・東名阪・中央道・北陸道全ての床板取り換えや、耐震関係の仕事が多く出ている。大きい工事は全国の会場にいらっしゃる皆さん方が既に仕事をされていて、私たちはその方と仕事をさせてもらうことが非常に多いのかなと思っている。北陸道の方でも多くカッターが出ており10キロずつ日本海カッターさんと私共で行わせていただいでいて、高速道路は引き続きずっとこういった形で続けるのかな？と思っている。また、名古屋市内ではジブリパーク、そちらの方もずっと細かいカッターとかあり、色々工事の方もお手伝いさせていただき、最近開園した。名古屋市内は建築が少しずつあり、駅前の古い建物で高さがあまりないものを解体して新しい建物にしていく工事がだいぶ増えている。土木の方も、リニア関連の工事それに付随する各地の大規模なシールド工事や諸々がある。前回の例会でもお話しさせていただいた明治用水の入れ替え中の事故関連の工事は私共も入らせていただいた。また、円高だったのがいつの間にか円安に変わり、私たちがトヨタという非常に大きな企業があるなかで仕事をさせていただいているので、さぞ元気なのだろうと思われるかも知れない。しかし、円安になると最近思うのが実習生の手取りが減るということが結構顕著で、実習生の手取りが減ると、彼らのモチベーションが著しく下がることになる。大体ベトナムでは25%くらい低下していて、給料がいきなり大幅に減ってしまう訳で、彼らのモチベーションをどうやって維持していけばいいのかなーというのが、いまの課題。特に何も出来ていないが、今後帰国とかしていく中で、出来るだけ再来日もらえるよう努力したい。これから若い社員も増やしていかなければならず、当協会会員各社の皆様には、引き続き宜しくご指導いただきお付き合いを願いたい。



東海 後藤理事

⑤ 関西地区代表 コンクリートコーリング株式会社 藤尾浩太氏

1970年の万博ではウルトラソニックバス（人間洗濯機）が話題を集めたが、他にも動く歩道などは万博を契機に全国的に認知された。今回2025年の万博会場は大阪湾の埋立地となり、アクセスが限定的になり、来場者輸送対策協議会を作ってルートを検討している。1つは既存の橋1本を利用して、最寄り駅と現在建設中の阪神高速淀川左岸線を暫定運用してシャトルバスを走らせる。2つ目は輸送力の期待できる地下鉄で現在延伸工事を実施中。因みに大阪バビリオンの建設費は当初73億円だったが、最近の発表では115億円へ増加している。資材価格の高騰が一因かと思われる。なにわ筋線について、関西高速鉄道（大阪府・大阪市・JR西日本等出資の第三セクター）が建設主体となり、北梅田駅からJR難波駅と新今宮駅を結ぶ7.2kmを地下で結ぶ新路線。新今宮駅周辺は賑やかな所で、北東部には新世界と呼ばれる歓楽街があり、南側にはあいりん地区が広がっている。また星野リゾートが高級ホテルOMO7を建設して話題となった。新路線の開業は2031年と発表されており、大阪から関西空港までは44分（20分短縮）で結ばれる予定。その中で切断穿孔関係が発生するポイントは、既存の地下鉄・地下街との結節機能向上を図るところに期待が持てそうである。流域治水の年間平均気温が1980年代後半から急速に上昇しているとの事で、北日本と西日本で+0.3度、東日本で+0.4度高くなっており、地点によっては+0.5度高くなる場所もあり、平均気温が上昇しているといっても大した数値ではないと思われるのだが、この30年間の時間雨量50mmを上回る大雨の発生件数は1.4倍、80mmや100mmは1.7倍に増加している。これまで比較的降雨の少なかった北海道・東北でも豪雨が発生し、今後も水害の更なる頻発、激甚化が懸念される。この様に平均気温が僅か0.3度程度の上昇で降雨が大幅に増加する事で、洪水の発生確率は約2～4倍に増加する事が予測されている。近年では自然災害はもはや日常化している状況である。そこで国交省では「河川整備方針や整備計画を変更して、治水計画を気候変動による降雨量の増加などを考慮したものに見直し、氾濫を出来るだけ防ぐ、減らす対策を進める」としている。治水関連工事の増加も期待できると言えそうである。



関西 藤尾理事

⑥ 中国・四国地区代表 株式会社コンセック 野田隆氏

今期もコロナ過で現場が集団感染の為に入場出来ずにストップする現場も多く、当社社員も感染して人選が厳しい状況が続いていた。今期の動きでは、繰越現場でダム止水壁鋼管杭水中切断、製鉄所の改修工事や原発関連の工事も含めて進んでいる。他に例年通りの中国自動車道の床版撤去や有料道路の橋梁・トンネル拡幅工事も併せて動き出している。昨年より海上ロジック解体の動きが有るが、落札金額が低すぎる為現場が進んでおらず、現在も仮囲いのままの状態。中国・四国の高速自動車道の耐震補強等はどんどん進んでおり、これからも続々と発注の予定。水力発電所の改修工事や既設水門の耐震補強工事・栈橋及び防波堤解体工事・砂防（ダムスリット切断）等の情報も入ってきている。昨年より、コンサルからのダムの放流管増設工事の話が出ては消え出たは消える状況だが、まだまだ動きは続く模様。最近ではコンサルから橋梁の狹隘部でのコア抜き問い合わせが多くなっており、既設アンカーボルトの抜き取り等可能ななどの質問も有り、現場の状況で決まっている。その他に製鉄所内の鍋地金等の切断撤去や高炉の大規模な改修工事の為に事前の切断テストを繰り返しやっている。2024年4月より社員の残業規制が厳しくなり休日出勤の対応が迫っており、他に24時間作業が3交代のシフトを取る様に元請けから依頼が来ている。人員確保がより厳しくなる。最後に一人親方対策でインボイス制度が来年の10月よりスタートする為、一人親方を登録へ推奨し差別化を計る必要がある。早期登録で消



中国・四国 野田理事

費税80%還元（3年間）50%還元（+3年間）等の税制の優遇措置が付加されている。一番の対策としては一人親方を契約社員へ登録する事が最善策と思われる。これからは色々と頭を悩ませる事が多くなり、工事の受注量を考えて動く事になりそう。

⑦ 九州地区代表 株式会社コムカット 河口幸史氏

私の父は二十何年前からこの会に参加させていただいており、自分が事業を引き継ぎこの会も見ているが、時間の経過と共に変化が実感できて、いい会だなと思っている。私は地元福岡の建設関係の大学を出て、ショーボンド建設で一年間修業し今の会社に入った。30年が経過し、その間社長になってから7年となる。機械等の設備投資を継続的に行い技術力向上を基本方針で進めてきたが、人員が追いつかず、人が足りず苦慮している。トラックは沢山あるが、全員が乗っても3台余る感じ。ただし、そのトラックや機械等があるので飛行場等当社が得意とする仕事が出来ている。資金もかかるが今後も設備投資は必要であり、続けていく。このような感じで会社を何とかやっている。個人の趣味としてはウェイクボードが趣味で、船を持っているので釣りではなくマリンスポーツをやっている。今年も骨折するなど毎年ケガするが…。また、平田さんと同じジムにも週3で通い、たまに会ったりする。安全・健康第一を心掛けていきたいと思っている。飛行場が得意な当社としては、去年はコロナの影響で飛行機が飛ばなかったのと旅客高の減少が原因で、維持工事が減少した。今年になりやっと飛行機が通常タイヤに戻りつつあるので維持工事が増えてきた。急な依頼もあるが対応している。福岡空港は2025年までに第二滑走路の建築が進んでいて、それに伴い国際線のターミナル増設を2025年完成目標で行っている。九州で年に2回の業者さんの会を行っており、先々週開催されそこでの話では、さほど去年と変わらないという話があった。ただし、下水等土木のカッター工事に関しては少し減ってきているのではないかとこの声が多くあった。解体関係のカッターやワイヤーは若干増えてきているという話もあった。忙しいけれど体感ではさほど感じない、NEXCOの話も上がるが、昨年と変わらない雰囲気、これからではないかとも話しておられた。今後どう進んで行くかという話し合いもされたが、結果的には協力し合うことで一致した。業者さんメーカーさん皆さんで協力し合って今後に臨みたいと思っている。



九州 河口理事

5. 委員会報告

① 企画委員会 田中芳宜委員長（第一ダイヤモンド工事株式会社）

5月の総会の時にご紹介したが、事務局に落合さんが入り引継ぎ1年目ということだが、仕事の呑み込みも早く、執行メンバーのフォローもあり順調である。皆様も機会があれば、事務局にお立ち寄りいただきたい。調査委員会からも報告があると思うが、[ワイヤーソー安全作業指針]の改定等のお手伝いしている。今後も変更のご要請等あれば対応させていただきたくのでご連絡願いたい。



企画 田中委員長

② 広報委員会 久保達博委員長（株式会社シブヤ）

広報では、定期刊行のニュースレターの60号を発刊した。ご協力下さった皆様有難うございました。年二回これまでは9月・2月のやや変則的な発刊であったが、今回は8月1日発刊とさせていただいた。これからは半年毎2月・8月の発刊となるのでご承知願いたい。また、総会でも発表した座談会企画を再開する。7年前にニュースレター企画として第一弾「次世代を担う切断穿孔業幹部編」として東京・大阪・福岡と開催致した。第二弾「現場の工事技術をけん引する責任者編」として東京・大阪と開催したが、コロナで中断になり3年ぶりに11月9日に福岡で開催する事とした。開催にあたり今日会場にいらっしゃる九州地区の理事また協会会員会社様にご協力願ひ、4社で開催させていただく。2023年2月発刊のニュースレターにて掲載するので是非楽しみにしていただけたらと考えている。また、是非皆様からの情報・企画提供等事務局の方にお寄せいただき、ニュースレターの充実と当協会の発展の為に活用させていただきます。



広報 久保委員長

③ 調査委員会 砂川高寛委員長（第一カッター興業株式会社）

半期の活動報告として、7月に「施工の手引き」の湿式が4工種、乾式が3工種の改定をし、最新版は協会のHPにアップロードされている。先程、企画委員会の田中委員長からお話のとおり「ワイヤーソーイング工法安全指針」に関して理事会で改訂等の決定をした。今まで初版から改定しておらず、今後編集等いろいろ情報をアップデートしていく必要がある。今までは出版社から販売して頂く体制をとっていたが、協会のHPから電子データとして無償でダウンロードして頂く状態に切り替える事とした。それに向けての作業で、先日出版社から版權を購入し、現在委員会で編集できる元データを作成している。予定としては本年度内には協会のHPに新しいものを掲載できるように現在進めている。協会HPに掲載されるまでは、旧版だが引き続き出版社から購入できるような形にはなっており、協会のHP掲載のタイミングで販売は終了する予定となっている。



調査 砂川委員長

④ 国際委員会 渋谷憲和委員長 (株式会社シブヤ)

今回、ドイツバウマの展示会、そして1月のワールドオブコンクリートを中止とさせていただいた。バウマフェアはコロナの為、随分と延期され、ドイツ・ミュンヘンで来週10月24日～28日まで開催される。その間に、当協会も所属しているIACDS国際協会が27日バウマ会場で理事会と、ダイヤモンド・アワードの表彰式を行う。また、2023年1月17日～20日これはアメリカ・ラスベガスで、ワールドオブコンクリートが開催されるが、これも研修ツアーは諸事情から中止ということになった。今後のスケジュールでは、ドイツでデボソという展示会が2023年3月23日～25日に開催される。この展示会は我々の業界だけの商品が展示される小さい展示会だが、凝縮された展示会で、もし、ご要望が多いようなら企画を検討する。また、IACDSの総会が、2023年5月18・19日または、25・26日ヴェネツィアかフィレンツェで開催される。これも出来たら行きたいなと思っており理事会で相談させていただく。そして2024年になるが、アメリカで開催のワールドオブコンクリートにIACDSが相乗りをして総会を行う。2024年1月23日～25日を考えており、こちらも理事会で相談させていただき、研修ツアー検討をさせていただく。また、IACDSでは3か月に1度オンラインにて役員会議を行っており、12月13日日本時間17時からこのオンライン会議があり、日本の状況をレポートする。そこで伝えたい事等あれば、ご連絡いただければ幸いである。



国際 渋谷委員長

⑤ メーカー部会 清水正史メーカー部会長 (理研ダイヤモンド工業株式会社)

メーカー部会はまだ本年度の会合をしておらず、我々業界の会合等が急激に復活をしており、メーカー部会会議も年末年始いずれかで予定をしたいと思うので、皆様ご参加を宜しく願いたい。メーカー部会会員はコロナ・ウクライナ侵攻等によるエネルギーや為替の問題に頭を抱えている。為替だけで今年に入り3割増になっており、鋼材をはじめ色々な材料が輸入材であり非常に苦しい現状。施工会社の皆様は色々苦勞されながら利益を上げておられると思うが、メーカーはわずかなところで収益を上げる努力をしながらやってきたが、今は如何ともし難い状況にある。当社も来月から価格改定のご案内をさせていただいているが、今日メーカー各社に話を聞いてみると全社同様に値上げ止むなしとの事。当協会の創設スローガンである【共通の利害に目覚め】の理念で、この窮地を乗り越えて行きたいと思うので、皆様にはご理解いただきご協力をお願いしたい。



メーカー 清水部会長

6. 技術情報 プレゼンコーナー (関連記事P-8～P-9に掲載)

- ① 【狭径用コアドリル】 株式会社コンセック 国司直克氏
- ② 【ダイヤモンドコアドリルDD 500-CA】 日本ヒルティ株式会社 五嶋弘晃氏



プレゼン風景

7. 事務局報告 落合事務局員

落合事務局員より以下の報告が行われた。

- ① 会員移動 新規入会 施工会員 株式会社D-1 退会 友の会 エフィー山形
- ② 事務局への照会事項(令和3年10月～令和4年3月末迄) 計37件
- ③ 令和5年度定時総会の予定

8. 閉会の辞 高橋副理事長 (第一カッター興業株式会社)

各地区・各委員会報告を本日色々して頂いたが、その中で、やはり老朽化対策が課題であって、気候変動に対しても課題であることを痛感した。一方再開発の行われている情報もあったが、やはり新設で行われる工事は減ってきており、その中で維持・補修という分野は増えている。この様な情勢の中で、元請となられるゼネコンさんを中心とした施工会社さんは激しい競争を繰り広げていると思う。人手不足はどの業界でも切実な話を聞く。元請さんの事情に振り回されないで、我々がしっかり結束力を持って取り組んで行くという事が、協会にとって大切な事だと思う。先程のメーカー部会さんからの要望に応えるという事を含めて、安全・健康に留意しつつ、この後の懇親会で親睦を深め、情報交換等楽しみながら行っていただきたい。以上にて第69回横浜例会を閉会とさせていただく。ありがとうございました。



閉会挨拶 高橋副理事長

以上、17時15分プログラムは全て終了し、盛況の中例会は閉幕となった。

例会終了後、同ホテル7階Rainbowの間にて17時30分より懇親会が催された。(次ページ記事掲載)

懇親会

総会・例会に引き続き17時30分より、同ホテル宴会場 レインボーの間にて、懇親会が執り行われた。恒例の宮崎文隆氏（株クライム）の司会により、小澤理事長（コンクリートコーリング株）の開会挨拶後、渋谷副理事長（株シブヤ）による乾杯の発声で懇親会がスタート。横浜・山下埠頭の夜景を背景に、参加の皆様は大いに盛り上がり、様々な話題に花が咲き、和やかに懇親を深めた。盛況の中19時30分、濱田理事（浜田工業株）の中締めでお開きとなり、散会となった。



懇親会開会 小澤理事長



乾杯 渋谷副理事長



司会 宮崎氏



懇親会場



後 左から 阿部氏 海瀬氏 加藤氏 新道氏
前 左から 小澤氏 高橋(正)氏



後 左から 松村氏 渋谷(彰)氏 貴島氏 太田氏
前 左から 磯谷氏 宮崎(文)氏 河崎氏



後 左から 山祿氏 渋谷(憲)氏 宮崎(雄)氏
板東氏 五嶋氏
前 左から 河口氏 坂本氏



後 左から 平田氏 久保氏 斉川氏
前 左から 淡路氏 長谷川氏 安井氏



後 左から 副島氏 藤尾氏 濱田氏
落合(則)氏 目黒氏
前 左から 砂川氏 酒井氏



左から 安藤氏 野田氏 田中(隆)氏 古木氏
増田氏 後藤氏



後 左から 国司氏 田中(芳)氏 須藤氏 清水氏
前 左から 落合(え)氏 濱田氏



中締め挨拶 濱田理事

新製品ニュース

Vol.2206

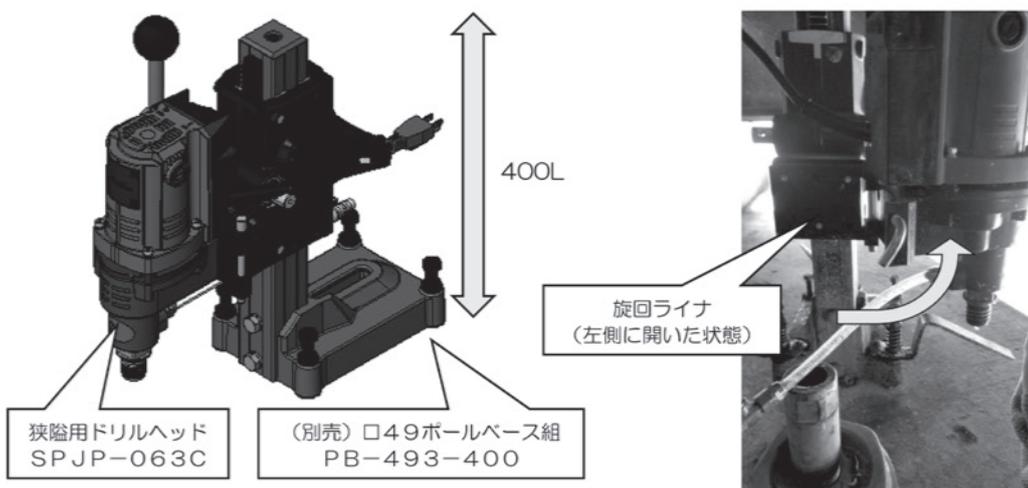
06

狭隘用コアドリル

SPJP-063C

◆特長

- ◎ 「橋の支承交換」「マンホール内」「CCボックス内（電線共同溝）」等の、施工スペースの狭い場所での穴あけが可能です。
- ◎ 旋回ライナを開くことで、コア折りやチューブの継ぎ足しが容易に出来ます。
- ◎ ポールベースおよびクランプは□49を採用しました。
- ◎ 旋回ライナを組換えることで旋回方向（左右開く方向）の変更が可能です。



◆仕様

型式名	SPJP-063C
使用電源	単相交流 100V 50/60Hz
定格電流	14A
消費電力	1330W
最大出力	1500W
無負荷回転速度	950min ⁻¹
標準コアビット呼径	14.5~61mm
最大コアビット呼径	160mm
コアビット取付ねじ	Cロッドねじ
寸法 [mm] W×L×H	210×336×284
質量 (コードを除く)	7.7kg

[標準付属品]
・片ロスバナ 27mm、32mm
・六角棒レンチ 4mm
・取扱説明書

ダイヤモンドコアモーター DD 500-CAのご案内

- ヒルティ初の400V高周波モーターを搭載



技術データ	DD 250-CA	DD 350-CA	DD 500-CA
電力	3200 W @ 200V	3600 W @ 230 V	5500 W @ 400 V
冷却方式	空冷	水冷	水冷
重量	12.7 kg	14.4 kg	16.6 kg
ギア	4,メカニカル	10, エレクトロニクス	10, エレクトロニクス
穿孔範囲	12-450mm	52-500 mm	82-600 mm
回転速度	380-1300 rpm	286 - 667 rpm	265 - 571 rpm
カットアシスト	可	可	可

パワーコントロールサイン

適正押し圧を緑、オレンジ、赤のランプお知らせ

10%モード

スタート時に発生するコアビットの滑りを防止

鉄筋モード

回転数を下げ、トルクを上げる事により最適なパワーでの穿孔が可能



三相400V

三相400Vならではの高トルクの実現

エレクトロニクスギア

電気制御ギアを採用する事により10段階の調整が可能

日本ヒルティ株式会社
〒224-8550
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20
P 0120-66-1159 F 0120-23-2953
www.hilti.co.jp

JCSDA特別座談会 [現場の工事技術を牽引する責任者・福岡編]

当NEWS LETTER既刊47号より、毎年1回の特別企画として座談会を行い、様々な視点から当協会がベースとする切断穿孔業界への意見をうかがい、記事として掲載させていただいております。今回は第6回座談会を「現場の工事技術を牽引する責任者 福岡編」として、同地区の施工会員4社の皆様に参集をお願いし、開催させていただきました。

開催日時及び会場：令和4年11月9日 18時より 鴻臚（ホテル日航福岡2F）にて

出席者：^{こうだ}神田 俊介様（ダイヤモンド機工株式会社 工事部工事課 課長）
^{たなか}田中 弘美様（株式会社センター機材 第1営業部 次長）
^{やなぎ}柳 弘明様（九州ダイヤモンド工事株式会社 営業課長）
^{きたむら}北村 友和様（株式会社コムカット 営業部長）（席次順）
 進行係：久保 達博（株式会社シブヤ 広報委員長 後半進行担当）
 清水 正史（理研ダイヤモンド工業株式会社 広報委員 前半進行担当）
 落合 えみ（事務局）

司会：本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。JCSDAの広報誌 [NEWS LETTER] の記事として「現場の工事技術を牽引する責任者」というテーマで、福岡地区の会員企業4社の皆さんにお集まり頂きました。新型コロナ感染対策で2年間中座しておりましたが、やっと福岡で開催する事が出来ました。今回もお食事と軽くアルコールをおとりいただきながら、リラックスして色々お話をお聞かせいただければと思っております。楽しみながら気軽に、宜しくお願い致します。では、先ずは乾杯をしましょう。（全員で乾杯）

ご出席の皆様のご自己紹介・切断穿孔業界に至る経歴及び現在の仕事内容

司会：改めまして本日は御参加ありがとうございます。先ず自己紹介も兼ねて皆さんの現在に至るまでの経緯と今のお仕事について、お話しいただきたいと思っております。では、席次の順番でお願いする事として、ダイヤモンド機工の神田さんから、宜しくお願いします。

神田：ダイヤモンド機工の神田と申します。歳は昭和52年生まれで45歳です。出身は長崎の平戸になります。高校は佐世保工業に行きまして、そこの高校の就職活動からダイヤモンド機工に入りました。ただ福岡に上京したい思いが強く、会社の内容はあまりわからず選んだ感じで（一同笑い）それから色々ありましたけども、27年くらいやってます。会社では、工事部の工事課に所属してまして、工事全般、現場の計画から、図面作成、人の配置と施工まで全面的に行っております。



ダイヤモンド機工(株) 神田 俊介氏

司会：今の社長のお父様の頃ですよ？ 我々のイメージだと厳しい方で。（失礼しました）

神田：そうです。厳しいですね…。平田豪取締役よりも会社に早く入社しているので、私の上には社歴でいうと、先代（平田實氏）しかいないんです。

久保：神田さん今のお話お聞きすると、3役というか、全てを統括されていますね。要ですね！

神田：そうですね。なかなかです（笑）。 人がいなくて…。

司会：ご苦労様です。続きまして、株式会社センター機材田中さんお願い致します。

田中：皆さん初めましての方もおられるので、初めまして。センター機材の田中と申します。自分がこの会社に入るきっかけは、高校の新卒での求人です。面接だけというのもあって（笑）。センター機材を受ける前に、希望していた先があって、陶器の会社なんですけど、学校で応募が多くて落ちてしまい、センター機材に面接に行き、それが入社のおかげです。

久保：運命ですね。

田中：入社しまして、当時、現場が5人、事務員が3人同時に入社したのですが、今残っているのが、現場で2人、事務で2人です。20年間現場をさせてもらって、21年目から営業に、解体部門関係の営業をさせてもらっています。

久保：今、入社から何年くらいですか？

田中：36年くらいですかね。55歳です。

司会：現場は Cutter が多かったですか？

田中：最初2～3年はCutterが多かったんですけど、それからワイヤソー等がどんどん普及してきて、自身がなんとなく興味があったんでしょうね。会社に入って、辞めようかという時期もあったけど、興味が出きたせいか、どんどん染まっていったと言うか。

司会：私たちメーカーの物を売る営業からいうと、工事の営業ってものすごくハードル高いと思うし、実際そうですね？

田中：うーん、どうですかね？ 自分の場合、いろんな現場を経験してきたんで、ハードルが高いというような違和感を感じた事ないです。

久保：お話をお伺いして、主にCutterをやられてた業種の方々が、今の時代色んな工法がどんどん入り込んできて、どんどん広げられている。営業に行かれるのは現場を判ってないと出来ませんよね。仕切りが悪いと、大変な目にあう、と聞いたりします。やはり現場を見てイメージ出来る事がベースにあるのかなぁと思います。

田中：そうですね。現場を知っているほど、どんどん見えないところも見えてくる。元請さんや、上の業者に言える事が増えてきます。

司会：イメージが大切なんですね。

田中：現場に入るのは、うちだけじゃないので、工程に沿って、他の業者さんの流れも考えつつうまく現場を流していかなければならないんで。

久保：1社だけでは出来ませんからね。手配や、協力業者さんと一緒というのが、より難しい。

司会：この座談会を皆さんクラスの役職の方々と東京・大阪と行いましたが、面識なかったりで、こういう場で話してみると、後々、何かの時に人間関係で活用できる部分があるらしいです。ライバル会社ながら、何かあったときに助け合えるって、すごくいい事だと思う。是非人間関係を作って帰ってください。続きまして、九州ダイヤモンド工事柳さんお願い致します。

柳：始めまして。九州ダイヤモンド工事の柳と申します。年齢は神田さんと同年代の44歳です。会社に入った理由というのは、私就職する当時、ものすごい就職氷河期で、私が専門学校卒業の時この会社の試験を受けるまでに7社落ちました。私はもともと、物を壊す方ではなく、造る方を希望していて、ずっと図面とかを書いていた。で、今お付き合いさせていただいているお客さんの会社も受けましたし、コンサルさんとかも受けて、ものの見事に落ちて。同級生は9割くらい就職先がなくて、うちの担当が見つけてくれた求人です。担当が、うちの会長と知り合いだったみたいで、それで行ったその日に「いつから来れる？」と言われ、学校も卒業してないのに就職しました。2月1日入社で、卒業式が3月16日だったと思います。だから、つい最近まで中途採用だと思われていました。卒業式の週も、出張に行っていて、前日に友達から連絡が来て、慌てて福岡に帰りました。この会社に入って、最初は手元とかを3年くらい腐らさずやってきて、



(株)センター機材 田中 弘美氏

その頃一回辞めようと思った時期があったんですよ。辞めなかったきっかけがワイヤーソーでした。コンクリートが切れるというのを初めて見て、面白みを見つけてそこから土木工事を15年位メインでやり、そこでハマったのかなあと。どんどん建物がなくなっていくのが、ものすごく面白くて、もとは作りたかったのに壊すのかあと。色々考えはしていたのですが、やっぱり壊すのって面白いです（笑）。それがいきなり3年前、忘れもしない7月24日に出張から帰ってきたら、8月1日から営業な、と言われてまして。そのまま営業職になりました。営業と工事を2年間兼任して、去年から本格的に営業という形になりました。営業って難しいし、きついですよ。ね。（笑）

司会：私からみたら、柳さんは雰囲気とかとても営業に向いてると思いますよ。（一同、同意）

柳：取引先様からも、「やっとスーツ着ようになったね！」と言われます。先程、神田さんが言われたみたいに、積算から図面書き、計算、工程、人員配置全部やっているんで…。

久保：うわぁー皆さんすごいスキルですね。

田中：私だけ年寄りですね！（笑）

久保：確かに氷河期ありましたね。

田中：私の頃はバブル期でした。

柳：今楽しくやらせてもらっているので、出会えてよかったなど。

司会：実は、この業種って、日本の根幹を支えている仕事なんですよ。単純な土木作業とも違うし、特に耐震工事とかいろんな部分でね。実際、頭もものすごく使いし。ワイヤーとかは提案施工型になるから、営業の方が元請さんとどう打ち合わせするかで仕事の取り方違うし。現場によって全部違いますもんね。施工会社で営業される方は、現場経験ないと絶対に出来ませんよ。

久保：先程、柳さんが「ワイヤーにはまった」と仰ってましたが、わかる気がします。奥が深いし、面白いですよね。

柳：切り方ひとつで、重心が変わったり、どう切ったら一番早く効率的に切れるかばかりをずっと突き詰めてですよ。組み合わせると、どんどん工程が1週間縮み、最終的には1ヶ月くらい縮んだり。そんな時は本当に気持ちがいいんです。

司会：達成感が大きいですよ。続きまして、株式会社コムカット北村さんお願い致します。

北村：コムカットの北村です。聞いたところ、皆さんほどちゃんとはしてないのですが、自分は郷里が広島で。バレーボールをやってまして、スポーツ推薦で福岡にきて、卒業まではちゃんとしてたんですけど、就職活動はしなかったんです。卒業して、4月になってどうしようかな？ さすがに働かない訳にはいかないなあと。スポーツ推薦で入った学科が土木だったので、求人を見ていたらコムカットを見つけて…そんな感じです。電話してみたら皆さんと一緒に、面接にすぐ来いと。それが5月の連休前で、当時の専務に面接してもらって、15日が締め日だから16日から来い！と。今の社長と大学が一緒だったんで、そんな縁もあったんだろうなあと。もう、23年目になります。6年現場をやってどうしようかなと思っている時に、今の上田専務から、一緒に営業をやらないかと声をかけていただいて、また違う楽しさを経験して。お客さんとの付き合いが楽しくて、今に至っています。

久保：適材適所ですね。

様々な体験の中で苦勞された懸案や経験とその解決談

司会：神田さんからお願いします。

神田：解決まで至っているかわからないんですけど…最近メインでの工事は10年位行ってないんで。その当時、現場でいうと大型物件で、宮崎にあるダムで4年くらいかけて改修する現場があったんです。そこで、うちの工種の中で、工程短縮とかされることが結構多くて。かなり無理を言われて、それでも何とかやり遂げる事が出来て。やっている時は大変でしたが、終わった時は、良かったなと思いました。

久保：4年というと、4期という事ですか？ 本当に大きな現場ですね。



九州ダイヤモンド工事(株) 柳 弘明氏

神田：そうです。うちの工期を短縮して他のところに充てるみたいな事が多くて。

柳： 他のしわ寄せを全部うちに寄せて来るみたいな事が確かに多いです。

久保：神田さん、先程の話、工期を短縮ってどう工夫して短縮されたんですか？

神田：時間と人の投入ですよ。私は職長だったんですけど、入れてくれればこっちで何とかするから、どんな人間でもいいから入れてくれるように言いました。そこまでして、工期短縮に努めたので、今その頃の担当だった元請の所長がいる会社からは、他はあたらずうちだけに仕事を任せてくれます。現場の仕事が営業にもなります。

司会：田中さんはどうですか？

田中：現場では、体と人をうまく回せばよかったんですけど、営業も行う今は別の苦勞をしています。現場の営業しながら管理して、それがいくつも重複して、そこに条件の多い見積依頼や図面依頼も来るので大変ですね。

司会：今のゼネコンさんってテレビCM等でやってるけど、若い監督であったり経験が浅かったりして、そういう歪みが皆さんのところに来るんじゃないですか？

田中：ありますね。自分の高校が工業高校の建築科だったので、図面を書く事が好きだったんですよ。だから、図面書く事は苦にならなかったんですけど、そこに至るまでの想像でしかない訳で。それがたまにぴったりとはまる事があって、その時は最高に気持ちいい。最高ですね。

司会：大体図面見るとイメージつくものですか？

田中：はい。大体わかります。高校からしていた事が活かされています。

司会：柳さんいかがですか？

柳：現場で苦勞したのは、大規模なタービンの入れ替えの切断工事があってその時に、うち1社だけじゃ人数が足りなかったので、協力会社さんに来て頂き、協力してもらって作業をしていました。施工量はあるのに場所が狭いところでやっているの、作業員が飽和状態で動けない状況になっていました。作業員を整理し、施工の効率化を図った事があります。人は飽和状態で動くと、効率が落ちるので、その辺をパズルしていく。一番効率のいい人数を探っていくんです。滑らかに進んでいく人数を算出して、私、理系なので数字で考えちゃうんです。当初は16人がベストでした。16人で1ヶ月半こなし、そこからまた人数を減らして最終的には8人にして。求められていた工期より前倒してお渡し出来ました。結果、その所長さんに気に入ってもらって現場を回してもらえるようになりました。先程も言いましたが、[現場が営業] それに限るなと思います。

久保：人数のハマリってあるんですね。

司会：有難うございます。では、北村さんお願いします。

北村：同じような話になってしまうんですが、10年くらい前丁度震災があって、当時リース機等も全く手配がつかなくなったり、とてもきつかった事がありました。上田専務が身体壊して入院したのが丁度年度末で、それまでの段取りを専務に甘えていたのが全部のしかかりその処理を全部自分で行う事になって、大変でした。終わってみれば、何とかあったんですけど。きつかったです。その時に、うち空港の特殊工事を多くやっているのですが、出張が多く、私含め福岡に4人しかいなくて寝ないでやっていたこれが終わればその日の夜と翌日休めるぞ！という時に電話が鳴って、大手さんからのお願いの連絡が入りました。皆が疲弊しているのにやるしかないという状態になって。最終的には皆がやってくれたのが、辛かったがとても嬉しかった。ランナーズハイじゃないですけど、最後は覚醒して楽しかったですね。少ない人数で丸となりました。僕らが Cutter を切っていかなかったら大手さんが仕事が出来ないじゃないですか。っていう事を、僕らの誇りに感じますね。僕らが居ないと出来ない。



（株）コムカット 北村 友和氏

司会：達成感って大切ですよ。人間が成長する。皆さんその積み重ねなんですね。

ここから久保さんに司会交代

今後会社をどうして行きたいのか、また、どうすれば発展して行くのか

司会：皆さんのお考えでいいので、教えてください。神田さんお願いします。(司会＝久保さん)

神田：難しいですね…。きれい事と言えば、風通しのいい会社とか色々ありますけど。私は本音で言うと、工事をやってきたんで何をしてもきれいさとスピードを負けたくない。ガンガン言う時代ではなくなっているんですけど、そこにはこだわって、いつも言うようにしています。多少お金がかかっても、いい材料があればいい材料を使うし、業者がいいものを使っていればそれを取り入れてやるようにしています。

司会：メーカーとしてはありがたい話です。やっぱり神田さんとしては技術っていう話ですよね？ よりいいものって言われると、頑張らないといけない。では田中さんお願いします。

田中：人材の確保が社内的にも課題になっています。うちも、20代が数名しかいない。主力が30代40代になっているので、人員確保が一番のネックです。何においても人間があってこそで、人間を育てたい。自分たちの持っている色々研究した技術、それを代々伝えていかないと、会社全体の技術力が落ちていきます。その辺は伝えていかなければいけないと思います。私も、綿貫（カッターの名人）に育ててもらったので、それを後輩に伝えたいです。間が空いたら引き継ぎにくくなるので、ある程度の間隔で人材は置いておきたいとつくづく思っています。

司会：今センター機材さんの年齢構成ってどんな感じなんですか？

田中：40代50代が一番ピークで…

司会：どの会社さんも、そんな傾向ですよ。協会の会合での地区報告で代表理事さんの発表の時、入職者が非常に厳しいと毎回あがります。あとでその議題もあるのでその時改めてお伺いさせていただきます。柳さんどうですか？

柳： どの世界でも同じでしょうが、同業他社さんは言えばライバルですから、なかなか交流はないですよ。自分は本音をいうと、これから横の繋がりをどんどん作って行ってもいいのかなって思うんです。繁忙時期が違ったりもするので、スポットで空いているところをお互いに埋め合える関係性を作る。人材確保も特殊業種なので簡単ではない、その辺を考えると、横の繋がりを少しずつ作って、人出不足のカバーもあるのかなあ、と思います。

司会：柳さん今日はいい機会ですよ。

落合：今後の参考にお伺いしたいのですが、逆に横との関係を作らず、個であるのにはメリットがあるのですか？語弊があるかも知れませんが、仕事を囲えるみたいな？

柳： 外注しないという事は、自分たちの純利益に上がってくる訳で。その純利益を分散するのが外に広げてという考え方ですが、仕事を潤滑に回せば、お客さんは逃げていかない訳であって、トータルで考えると、横の繋がりをもっていかないと企業的には弱くなっていくのかなと。お客さんが逃げる事が一番の痛手なんです。

清水：昔のこの業界って、引き抜きされちゃうんじゃないかみたいな意識があり、同業交流がいけないという感じがあったのかも知れませんが。でも皆さん卒業してからずっと今の会社で自社に誇りも持たれているから、そういった事はないですよ。

一同：ないですね。

清水：そういう皆さんが交流をすれば部下の方もそれを手本にしていけるだろうし、頑張ってください。

司会：パイプがあることは重要ですよ。

田中：仕事を取り合うこともなくなってくるといいですし。

柳： 今回のこの座談会、会長から行ってこいって言われて来ましたが、いい機会いただいてありがとうございます、感謝してます。

司会：そうですね。北村さんはいかがですか？

北村：僕も全く同感です。もったいない部分がたくさんある。ここまで下げる必要のないのに、という事もなくなる。せっかく同じ業界にいるんだし、僕らにそんなしがらみはないです。ただ、僕らがオーナーだったらわからないですけどね(笑)。もっと助け合ってもいいかもしれませんね。なかなか難しいでしょうけど。壁を壊していかないといけないですね。

人の教育をどのように考えているのか、どう教えているのか

司会：この課題は、どの会社さんも頭を悩まされていると思うのですが、神田さんからお願いします。

神田：うちの会社は毎年新卒で、高卒大卒両方で5人くらい入ってくるんですけど。最近やっと5人中3人くらい残るようになってきたんです。つい最近うちの会社も一次として床版取り換えの工事をやるようになってきました。いろんな会社の応援では入った事があったんですけど、一次でやる経験はなかったですから。私も1、2週間ついてやっている中で、新卒で残った若手社員を見て痛切に教育不足を感じたんです、現場の中で。育ってないなど。残ってはいるものの育っていない。こういう時代なので、言う事も言えて来なかったというのもあったのかも知れませんが、その時はちょっと酷かったのてつい私も強い言葉で言ってしまうて。

清水：そういう事があったんですか？ 神田さんの雰囲気から想像できませんね。

神田：そうですね（笑）。非常に育成って難しい。しかし、言うべき事を言わないと、残るのは残ってもいい育ち方はしないので、その兼ね合いが難しいでしょうが、伝える事はしっかり伝え、教えていかなければならないですね。昔とは時代が違うので厳しい職長クラスもいませんので、今、悩んでいるところです。その中で、私はやはり現場に行きたい。現場に行き、指導していきたくて思っています。



神田 俊介氏 田中 弘美氏

司会：職長さんの人数で現場数って決まりますもんね。その確保も大切な仕事です。やはり言わないと駄目ですからね。

昔は教えてもくれなかったですからね。俺の背中を見て覚えろ、的な。でも今はそんな時代じゃない。神田さん怒らせたなら怖い（笑）。

清水：言わないでそのまま過すと、後で言わなかった事を自分が後悔する事ありますよね。言われない方はそれでいいと思うから同じような事するし。今パワハラみたいな言葉がある意味弊害でもありますよね。何も言えなくなる。会社の為、あなたの為に言っているというのは続けていくべきですね。

司会：怒る実力もない人もいるでしょうが、それでは何にも響かない。怒る人は必要です。では、田中さんお願いします。

田中：自分達の時代は現場行っていて、違う事したらセットハンマーで頭を…なんて事もありましたし（笑）。鉛と鞭といえますか。比べて今は鉛3に鞭1位な感じ。何しろこの業界って一つ事故が起これば命に関わるような事になるじゃないですか。やっぱり、危ないという事は言わないといけないし、その前に作業手順を確実に最初入った時点で、理由付けをして教える。そのステップをうまくしていかないと今の若い子には伝わらない。結論ではなく、経緯を伝えた教育をしなければならぬ。人それぞれ考え方も違うと思うけど、現場と一緒にいたりする者が個人の能力や意識を把握しながら指導しなければいけないと僕は思います。

司会：人を見て、という事ですよ。わかります。柳さんお願いします。

柳： 毎年高卒で3人位入ってくるんですけど、今うちの会社は会長も入れて平均年齢が20代なんです。ていう事は技術がないんです。で、今うちの会社で大きな現場こなせるのは私を入れても数人しかいない。育ちきれていない若い社員が倍以上いて、1人に対して2人付くような感じになり現場数はこなせない。だから今やっているのは、獅子の子を千尋の谷に落とす、じゃないですけど、ちょっと大きな現場に私が代理人として立って、芽が出始めた4年目5年目の社員を職長にし、何かあったら責任は取るからこの現場終わらせて来いと言って、今山口に4人送り込んでいます。ひっきりなしに電話かかってきますけど（笑）。今までは近くにいるからすぐフォローに飛んでいけました。今回は県外なので、彼らが自分達でどうにかするしかない状況に追い込んで、自分達で解決出来る様にし、成長を促しています。

田中：同意見。自分も今そうしています。全く手を出さず、自分で考えろと。

柳： 新規の現場が始まる時に図面1枚じゃ若い社員はわからないので、フローチャートとプロット図を全部作って、絵の手順書を渡すんです。元請さんから新しい変更図をもらうようにしているので、またそのプロット図を作って情報共有用のグループラインで送るんです。ラインって便利なので、必要なものがあるならこれ

で情報共有しあってます。少し無理な育て方をしています。うちは40代と20代の間の30代が1人しかいない。あとは10代…。教育できる社員が少ないんです。教えていくと粗が出るので、それをたたいて錆を出すじゃないですけど。刀を造るみたいに異物出していく、みたいな感じですかね。折れたら辞めちゃうんですけど、せっかくやる気があるのを折る事は絶対に出来ませんし。

清水：素晴らしい。明日会長に電話して、会長の会社には素晴らしい人材がいますね、と伝えておかないと。

柳：あと2、3年すればプロットはいらなくなるはず。育った社員が、若い社員を育ててくればいいです。

清水：日本と欧米の違いって、マニュアル化できない部分を具体化しているから今に日本の会社があるだと思うんです。誰がやっても同じ結果になるなんて事はないんです。

柳：今の若い社員達に一番足りていないのは考える力だと思います。自分でどうにかしよう、こうやろうという発想がないから、その発想の意識付けが一番意識しています。

司会：今の学校教育の在り方に関わる事ですね。有難うございます。北村さんお願いします。

北村：うちは柳さんのところと逆で、新入社員が毎年という訳じゃなくて、若手が少なく中堅以上が多いんです。技量としてはある程度あるんですが。ただ、自分の今迄の経緯を考えると、現場で経験して覚えてきたんですね。何をもち切れているのかの理屈を解ってもらいたい。協会やメーカーさんと勉強会をしていけたらいいと思うんです。回転数や水の量だったり、経験で覚えていくんですけど。メーカーさんみたいに、じゃあそれが何故なのか説明が出来ないんです。



柳 弘明氏 北村 友和氏

司会：それはぜひお願いします。たまにご要望をいただき過去に関東でやった事はあるんですよ。

北村：是非九州でも、うちだけじゃなくていいので、現場の人間に。

田中：自分が現場にいたときは、自分が機械になって刃になった気持ちで物事全て考えて。それで理解しましたよね。

北村：回転と音を聞けと。でも、経験でしか言えないんですよ。

司会：メーカー視点でいうととてもありがたいです。理解を深めていただくと、ご意見の共有ができます。

現在の会社や業界で仕事をしていて誇りに思う事

司会：神田さんお願いします。

神田：最初の方にも言いましたが、工期短縮だとか、難しい仕事をしてお客様に喜ばれて次の仕事に繋がった時一番うれしいし、誇りに思います。あとは、誰もやった事のない、最近でいうと、浮力式の洋上風車。世界で一番大きい奴の解体をした事です。テストを福島沖でやって、それを福島から鹿児島まで持ってきて切ったんです。ドキドキしましたが、楽しかったですね。

田中：楽しいですよ。自分も、した事ないような仕事するとワクワクします。

柳：切り方考えている時が一番楽しいですよ。

司会：浮かんでいて基礎が打ってないって事ですよ？

清水：どのくらいの工期でやったんですか？

神田：1週間くらいで。5人でやりました。で、ちょっと空いて、最後土台を海上で切ったんです。全てシュミレーションで、造るところから解体まで費用がいくらかかるかやってみて。

一同：見たかったあ。

神田：運ぶ過程とか、日本に2隻しかない1万馬力の船を2隻使って引っ張っていくんです。

司会：時代の最先端の話ですね。日本を支える事業をやっているというのを若い人たちに知って欲しい。

清水：この仕事、建築みたいにビルが出来たり橋が出来たりじゃないから結果が見えないんですよ。目視で感じる達成感とは違うけど、必ず皆さんが入らないと達成できない仕事。そういうのをインフォメーションしな

いとイケないですよ。

司会：地図に残らない仕事って言いますよね。

神田：私、大林のHPに載っています。(大林組HP OBAYASHI VISION SHOWCASE 2022 No.33にありました)

司会：へー。すごいですね。それでは、田中さんお願いします。

田中：現場に行って作業している時も、やって当たり前くらいしか思っていなかったんですけど、家族とドライブ行ったときとか「この橋壊したんだよ」、「これ壊したんだー」といっても、何にも残ってないから何の反応もない(笑)。家族に言っても伝わらない。何にも残らない仕事。それ確かにありますね。最初に話しましたが、図面だけ渡されて、自分の世界の中に入って図面作ってはまる事が多々ある。そういう事ですかね？

清水：皆さんが毎日やっている事が誇りに思える事なんですよ。

司会：キッチリはまることって年中あるんですか？

田中：7、8割は。工程とかもびったりはまったり。うちだけじゃないので、他業者さんの工程も考えながらその辺がはまると気持ちいいですよ。

司会：素晴らしいと思います。後輩に伝えて欲しいですね。それでは、柳さんお願いします。

柳： 誇りが無いのが誇りですかね？ この仕事したくて入ったんじゃないって始めに言いましたが、仕事内容も分からないまま入社しました。なので、誇りと言われたら、今までやってきた事全てですかね。誇りにしたいものはあります。今山口に行っている若い社員達は間違いなくうちの会社の次世代のエースになる人達なので、その連中が会社を支え、皆を引っ張ってってくれる未来が私の誇りになると思います。あの人達を育て上げて言えるようになるのが一番誇れる事だと思います。やっぱり施工レベルの高い社員がいないと会社は成り立たない。営業は仕事獲ってきてなんぼなんで。私は作業員が営業だと思っています。基本は作業員が中心にいて、営業が壁になって会社を守る。やっぱり作業員を育てる事が好きです。誇りです。

司会：それで充分だと思います。当人たちはエースとされている事を感じているんですかね？

柳： 思わせてます。「お前らがおらんとこの会社成り立たんけん」といって追い込んでます[笑]。

清水：最初は皆さん初対面でやや口が重かったけれど、しっかり意見をお持ちでいい発言していただいて、ありがとうございます。4社の社長さんにこの場において聞いて欲しいくらいですね(笑)。

司会：ニュースレターってあまり見てないのかなあと思うかもしれないけど、かなり皆さん見られてて、反響があるんですよ。今回も充実したものになりますね。では、北村さんお願いします。

北村：お客さんに「お前のところに頼んでよかったよ」と言ってもらえる事ですね。それに尽きますね。あとは、若い頃、自分が言われるままやっていた時には思わなかったけど、誰かの為になってるって事を感じ出しましたね。地域貢献なのかなって。災害でもなんでも、僕らが何かしないと解体は始まらない。

司会：ありがとうございました。

JCSDA に対しての要望や期待する事

司会：では、最後になりますが、JCSDA に対して要望や期待する事ですが、神田さんお願いします。

神田：最初、私からの発言だったので、どうしよう？ と思いつつ、色々楽しい時間でした。今日を振り返れば、今回みたいな機会が増えればいいなと思っています。ニュースレターは毎回見えています。会合に経営者と共に幹部の方が来ていたところもあったと思います。自分も機会があれば行ってみたい？ のかなあ(笑)。

清水：九州地区だけでもあればいいですよ。大阪の座談会でもそういう話がありましたね。施工メンバーで地域的でもいいから話しを出来る機会があればいいって。

落合：管理職の会とかあってもいいかもしれませんね。

司会：こういう会のつながりを広報としてやっていきたいと思っていますので、ありがとうございます。田中さんお願いします。



座談会風景

田中：今回こういう場に出席させてもらって、他社さんの意見とか、考えとかも聞かせていただき大変勉強になる事が多々ありました。自分達の仕事は現場が相手ですが、情報を得る為にも、またこういう機会を作っていただき、もっともっと視野を広げてパイプを色々繋げる事は必要だと思いました。本当に良かったです。

司会：ありがとうございます。柳さんお願いします。

柳：皆さん仰ってましたが、気軽に集まれる意見交換会みたいな感じでやって欲しいですね。施工する側・管理する側でこういうのもいいのかなという事を話し合う事はいいと思います。うちの若い人はうちのやり方しか知らないの、様々な知識を与えてあげたいし、収集の場になって欲しいですね。

司会：今、第二弾でやっているの、もっと裾野を広げて、職長もしくはもっと緩やかにやる事も大切かもしれないんですけど、結構根回しが大変なんです（笑）。でも、それを乗り越えて頑張ります。最後に、北村さんお願いします。

北村：先程、清水さんが仰ったように（*1）、海外では僕らの業界はすごくリスペクトされているみたいなので、一企業では限界があるので、協会で業界全体のイメージアップをしていただけたら、若い人もどんどん入ってくると思うんで。

司会：NEWS LETTERの発行部数は限られているんですが、この企画、これから入る人に対して、皆さんの入社経緯や業界の魅力を伝えたいものだったので、非常に貴重なお話をお聞き出来、本当にありがとうございました。皆様、今後も幅広くご活躍いただき、業界のボトムアップに尽力をお願い致します。長い間、ご苦勞様でした。

*1) 清水広報委員の現役時の体験で、豪州の現場に立ち会った際、穿孔業者が作業を始めると配電や他の作業が一時的に全て停止され、ダイヤによる切断穿孔作業が最優先され、海外での我々の業種のポジションの高さに驚いたという話。



座談会参加者全員で集合写真

今回も18時に集合いただき、食事と適度なアルコールもおとりいただきながら、色々な話題でお話しいただきました。40代から50代のバリバリの中堅幹部の皆様で、さすが色々考えられて就業されておられる事がよく判りました。時間の経過に伴い懇談もはずみ、今回も3時間超えとなりました。ページ数9ページと言う枠に収める為、かなり割愛せざるを得ず、内容を絞り込み、記事を纏めさせていただきました。貴重なお話を全て掲載出来ず、申し訳ございません。出席の皆様、本当にお忙しい中ご協力ありがとうございました。今後も、座談会企画を色々と考え開催してまいりますので、会員各位色々ご協力の程、宜しくお願い致します。

広報委員会

【施工計画の手引】掲載のお知らせ

フラットソーイング工法	(第23版)
コアドリリング工法	(第23版)
ウォールソーイング工法	(第23版)
ワイヤーソーイング工法	(第15版)
乾式コアドリリング工法	(第8版)
乾式ウォールソーイング工法	(第8版)
乾式ワイヤーソーイング工法	(第8版)

令和4年7月1日に内容を更新改訂致しました。

当協会ホームページに掲載しておりますので、皆様、是非ご活用下さい。

内容に関するご質問お問い合わせ等は、協会事務局にご連絡下さい。

調査委員会 委員長 砂川 高寛

JCSDA 事務局便り

◆会員移動

- 1) 施工会員 : 35社 入会: (株)D-1 (新潟県) 退会: なし
- 2) メーカー会員 : 13社 入会: なし 退会: なし
- 3) 友の会会員 : 45社 入会: なし 退会: (有)エフィー山形 (廃業の為)

◆会員募集: 詳しくは事務局までご連絡下さい。入会申込書をお送りします。

	正会員			友の会会員
	施工会員年商2億円以上	施工会員年商2億円未満	メーカー会員	
入会金	10万円	10万円	10万円	なし
年会費	20万円	15万円	20万円	2万円

◆会員情報

新入会員 株式会社D-1 〒940-1104新潟県長岡市撰田屋町2701-13 代表取締役社長 淡路忠利
TEL 0258-89-7685 FAX 0258-89-7686

*お願い: 会員各社様の各種情報(代表者・所在地・TEL/FAX番号等)変更の場合には、その都度必ず当事務局宛
ご一報を下さいます様、お願い致します。

◆総会・例会開催予定

第31回定時総会第70回例会 目黒雅叙園(東京)にて令和5年5月24日(水)開催の予定。
詳細は後日、事務局よりご案内させていただきます。

◆事務局より

毎週月曜日から金曜日(9時30分～16時30分 土日祝休み) 落合事務局員が常勤しております。
何かございましたらご連絡をお願い致します。

施工会員 35社 (北より地域順)

会社名		所在地	電話番号	FAX番号
(株)エジマ	〒078-2600	北海道雨竜郡雨竜町字満寿36-9	0125-79-2011	0125-79-2012
(有)栄進カッター工業	〒003-0869	北海道札幌市白石区川下2065-2	011-873-6908	011-873-6909
第一建興江島(株)	〒065-0023	北海道札幌市東区北二十三条東18-2-3 2F	011-751-0410	011-771-6361
東北カッター(株)	〒038-0021	青森県青森市大字安田字若松60	017-766-9230	017-766-9244
井上工業(株)	〒991-0066	山形県寒河江市松川120	0237-83-4050	0237-83-4051
(株)バステムサービス	〒342-0036	埼玉県吉川市高富大場川1059	048-983-8560	048-983-8570
コンクリートコーリング(株)(東京)	〒177-0054	東京都練馬区立野町16-12	03-3928-3023	03-3929-8997
小笠原興業(株)	〒177-0044	東京都練馬区上石神井1-41-2	03-3928-1514	03-3928-1508
第一ダイヤモンド工事(株)	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見3-14-27	03-3417-1911	03-3417-3777
(株)ダイイチ	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見5-1-7	03-3416-0411	03-3416-0412
(株)シンワダイヤ	〒116-0001	東京都荒川区町屋1-10-11	03-3819-8600	03-3819-8601
(株)丸辰道路工業	〒224-0043	神奈川県横浜市都筑区折本町338	045-476-4012	045-476-4013
浜田工業(株)	〒226-0026	神奈川県横浜市緑区長津田町4805	045-921-6500	045-921-2420
第一カッター興業(株)	〒253-0071	神奈川県茅ヶ崎市萩園833	0467-85-3939	0467-88-0567
中央総業(株)	〒252-0303	神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1 4F	042-765-5500	042-765-2822
(株)D-1	〒940-1104	新潟県長岡市摂田屋町2701-13	0258-89-7685	0258-89-7686
東海カッター興業(株)	〒462-0017	愛知県名古屋市区北區落合町135	052-901-4811	052-901-4812
江島産業(株)	〒457-0003	愛知県名古屋市区南区鶴田1-5-13	052-821-9305	052-821-9339
(株)ダイヤテクニカ	〒459-8001	愛知県名古屋市区緑区大高町字平地5-1	052-624-7101	052-624-7152
コンクリートコーリング(株)(大阪)	〒534-0001	大阪府大阪市都島区毛馬町5-15-24	06-6924-4517	06-6928-1263
(株)ティ・ビー・シー・ダイヤモンド	〒587-0011	大阪府堺市美原区丹上321-2	072-363-4145	072-363-4146
(株)日本コンクリートカッティング	〒578-0921	大阪府東大阪市水走5-5-50	072-960-5910	072-960-5911
(株)丸辰道路工業(大阪)	〒581-0054	大阪府八尾市南亀井町2-4-51	072-923-7579	072-923-2499
北辰工業(株)	〒570-0032	大阪府守口市菊水通4-12-15	06-6997-2426	06-6997-2429
(株)佐藤工業	〒653-0805	兵庫県神戸市長田区片山町5-11-24	078-612-0413	078-612-0421
(株)中国カッター鳥取	〒680-0905	鳥取県鳥取市賀露町129-2	0857-28-9808	0857-28-9815
(株)コンセック	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-6-8	082-277-5452	082-278-6389
瀬戸内カッター工業(株)	〒799-1533	愛媛県今治市国分2-9-37	0898-47-4100	0898-47-3040
(株)リュウキ	〒807-0852	福岡県北九州市八幡西区永犬丸西町4-20-28	093-601-6777	093-601-6888
九州ダイヤモンド工事(株)	〒814-0174	福岡県福岡市早良区田隈2-23-6	092-864-7600	092-864-7638
(株)コムカット	〒811-1314	福岡県福岡市南区の場2-21-1	092-571-1971	092-585-5647
(株)センター機材	〒812-0894	福岡県福岡市博多区諸岡5-1-8	092-591-2828	092-591-3078
ダイヤモンド機工(株)	〒814-0143	福岡県福岡市城南区南片江2-30-21	092-801-0011	092-863-5707
(株)旭工業	〒885-0004	宮崎県都城市都北町1715-2	0986-36-6650	0986-36-6651
(株)西部システム	〒899-4346	鹿児島県霧島市国分府中町26-33	0995-46-9015	0995-46-9016

メーカー会員 13社 (50音順)

旭ダイヤモンド工業(株)	〒102-0094	東京都千代田区紀尾井町4-1	03-3222-9299	03-3222-6530
エービーイーダイヤモンド(株)	〒358-0014	埼玉県入間市宮寺2595-7	0429-34-3110	0429-34-3169
(株)クライム	〒146-0081	東京都大田区仲池上1-29-3	03-3753-2014	03-3753-2229
サンゴバン(株)	〒298-0106	千葉県いすみ市須賀谷74	0470-86-3011	0470-86-3677
(株)シブヤ	〒738-0021	広島県廿日市市木材港北5-86	0829-34-4507	0829-34-4508
(株)ディスコアブレイシブシステムズ	〒140-0004	東京都品川区南品川2-2-15	03-5461-7501	03-5461-7525
仲山鉄工(株)	〒426-0055	静岡県藤枝市大西町3-14-1	054-635-1383	054-635-0418
日本ダイヤモンド(株)	〒224-0054	神奈川県横浜市都筑区佐江戸町686-1	045-939-3001	045-939-3003
日本フレキ産業(株)	〒202-0014	東京都西東京市富士町2-13-17	0424-61-5175	0424-61-6310
日本ヒルティ(株)	〒224-0037	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	045-943-6258	045-943-6234
ハスクバーナ・ゼノア(株)	〒350-1165	埼玉県川越市南台1-9	0570-666-778	0120-365-295
ピースダイヤモンド工業(株)	〒224-0026	神奈川県横浜市都筑区南山田町4145-2	045-593-1271	045-592-2494
理研ダイヤモンド工業(株)	〒116-0002	東京都荒川区荒川1-53-2	03-3805-3471	03-3805-2434